

2016年9月 小平市議会 小野高一市議の質問と小林正則市長の回答部分抜粋（下線は kamihoo、質問2は削除しています。）

10番（小野高一） 皆さん、お暑うございます。10番、小野高一です。通告書に従い、2問質問させていただきます。

1問目、新小平駅周辺の都市基盤整備について。

新小平駅、青梅街道駅周辺地区のまちづくりについては、平成24年6月、平成25年3月、平成26年6月、そして昨年3月の一般質問でも取り上げており、地元の方々からは、新小平駅や青梅街道駅周辺のまちづくりも進めてほしい。また、都市計画道路や都市計画公園の整備はどうなるのかなど声が届いています。前回の答弁では、新小平駅周辺の課題として、駅周辺地区における都市計画道路の整備内容等が定まっておらず、新しい町の機能の検討は行っておりませんとのことでした。

この間の市のまちづくりを取り巻く状況は、東京都と26市2町が連携、共同して、東京における都市計画道路の整備方針第四次事業化計画が策定されましたが、新小平駅、青梅街道駅周辺では、小平都市計画道路3・3・3号線などの都市計画道路の優先整備路線には選定されませんでした。また、小平市農のあるまちづくり推進会議からは、農業公園づくりに向けた提案がありました。私は、新小平駅周辺のまとまった農地も含めたまちづくりとして取り組むことにより、農地などの貴重な緑地空間、自然や歴史的景観を生かした安全で快適な、優しさのある住みよい町を後世に伝えることができるのではないかと考えています。

そして、今年度の予算編成に当たっての施政方針では、魅力ある公園づくりの推進に向けて、長年整備が見えてこない都市計画公園である鎌倉公園について、整備に向けた基礎調査を行うことが示されています。今回は、市内唯一のJRの駅である新小平駅周辺地域に的を絞り、これまでのさまざまな動きを踏まえ、今後、市が考えるまちづくりについて質問いたします。

問1、新小平駅の南側には、東京都が整備を進める計画の小平都市計画道路3・3・3号線が都市計画決定されていますが、第四次事業化計画では、市の東部地域までが優先整備路線であり、地元からは、いつになったら新小平駅周辺地域が整備されるのか、将来のまちづくりに不安があるなどといった声が寄せられています。小平都市計画道路3・3・3号線を含めた新五日市街道線の優先整備路線の状況と残りの部分の整備について、どのように進む予定になっているのか、伺います。問2、現在、小平市都市計画マスタープランの改定作業が進んでいますが、新小平駅を利用する地元の方々からは、JRの駅が近いのに活気を感じない、たかの街道が狭くて走りづらいなどといった意見も聞かれます。新しい小平市都市計画マスタープランでは、新小平駅周辺の都市基盤整備の課題をどのように捉え、どのような将来像を描こうとしているのか、伺います。問3、今年度の予算では、新規事業として都市計画公園である鎌倉公園の整備検討基礎調査を行うと聞いているが、現在までの取り組みはどのような状況で、完成はいつごろを目指すのか。また、整備に当たりどのような課題があると考えているのか、伺います。問4、さきに示された小平市都市計画マスタープラン見直し検討委員会の検討用資料では、新小平駅、青梅街道駅周辺のまちづくりの動向として、短冊状農地の風景が残る地域については、農を身近に感じる空間としての活用を図るなど、緑の維持、保全に向けた検討をしますとの考えが示されていますが、この具体策として、この地域で鎌倉公園とともに農業公園を整備し、観光まちづくりの拠点とすることは考えられないのか、伺います。問5、地域のまちづくりとなる鎌倉公園の整備に向けた取り組みを後押しできるように、新みちづくり・まちづくりパートナー事業を新小平駅周辺地域でも活用し、早期に小平都市計画道路3・3・3号線を整備することはできないのか、伺います。

< 質問の2は削除 >

以上で質問を終わります。答弁によっては再質問を自席よりさせていただきます。ありがとうございました。

市長（小林正則） 小野高一議員の一般質問にお答えいたします。

初めに、新小平駅周辺の都市基盤整備についての第1点目の小平都市計画道路3・3・3号線を含めた新五日市街道の優先整備路線の状況と残りの部分の整備の予定でございますが、新五日市街道は、西東京市東伏見4丁目から小平市、立川市及び福生市を經由して、あきる野市に至る、延長おおむね33キロメートルの都市計画道路で、多摩地域における東西方向の主要路線の一つであり、東京都において整備を推進していく路線であると伺っております。

本年3月に策定された東京における都市計画道路の整備方針第四次事業化計画では、本年度から平成37年度までの今後10年間で優先的に整備すべき路線として、西東京市、小平市、立川市、福生市の未整備の区間において優先整備路線が選定されております。

市内の小平都市計画道路3・3・3号線につきましては、西東京市境から花小金井南町2丁目、せいぶ通りまでの870メートル、小平都市計画道路3・4・17号線小金井街道から小平都市計画道路3・4・7号線新小金井街道までの1,180メートルの2区間が優先整備路線に選定されております。市内を含め、残る部分の新五日市街道につきましては、第四次事業化計画において必要性は確認をされているものの、優先整備路線には選定されておられません。このため事業化まではさらに期間を要することになると考えております。

第2点目の改定作業を進めている新しい小平市都市計画マスタープランにおける新小平駅周辺の都市基盤整備の課題と将来像でございますが、現在検討を進めております地域別構想において、新小平駅周辺につきましては、市内を三つに区分したうちの中央地域に位置づけ、JR武蔵野線が都県をまたぐ広域的な都市間を結ぶ路線であることから、特徴として、市の観光まちづくりに向けて、市外からの来訪者が期待できる地域であると考えております。

また、現行の都市計画マスタープランでは、新小平駅周辺の課題として、他の駅周辺に比べて開発余地を多く残しており、新小平駅の将来的な利便性の向上や現在の開発余地の豊かさを生かした新しいまちの機能を検討する必要があると捉えていることから、引き続き課題の解決に向けて検討する必要があると考えております。

なお、新小平駅周辺地域の将来像としてまちづくりの方向性を検討しておりますが、良好な緑空間の保全、活用の点では、当該地域では、本市の貴重な緑の保全と活用を図るため、都市計画公園を活用した農を身近に感じる空間としての整備を含めた、一体のまちづくりや基盤整備について検討する必要があると考えております。

第3点目の鎌倉公園の整備、検討、基礎調査の取り組み状況と完成予定でございますが、本調査は、小平市みどりの基本計画2010において、緑の将来拠点に位置づけられている小平都市計画公園3・3・1号鎌倉公園の整備を目指して、計画地と周辺を取り巻く自然環境、社会状況の把握や整備に向けた可能性の検討など、現状や課題の把握を主な目的として取り組んでいるものでございます。

鎌倉公園全体の完成までの道筋はこれから検討してまいります。地域の方々に整備効果を実感していただけるよう、計画的かつ着実に取り組んでまいります。

また、整備に向けた課題につきましては、都市計画公園の整備に伴うアクセス道路の整備、公園用地の取得や公園機能の検討といったものが考えられますが、現在進めている調査の結果を参考に、適切に判断してまいります。

第4点目の鎌倉公園とともに農業公園を整備し、観光まちづくりの拠点とする考えでございますが、観光まちづくりの課題の一つである農地などの地域資源の活用という点でも、昨年、小平市農のあるまちづくり推進会議より提案をされた農業公園の整備を鎌倉公園の整備の中で実現していくことは、具体的な方法の一つであると考えております。

第5点目の新みちづくり・まちづくりパートナー事業による新小平駅周辺地域での小平都市計画道路3・3・3号線の整備でございますが、現在のところ、新みちづくり・まちづくりパートナー事業は、東京都が整備年度を本年度までとして、市とともに事業を進めており、市内では小川町1丁目地区で本年度末の事業完成を目指し、小平都市計画道路3・3・3号線の街路築造工事を進めております。

本事業の活用の点では、東京都が市町村から新規事業についての強い要望があるため、次の事業の検討を行うと伺っております。新小平駅周辺地域につきましては、今後、地域のまちづくりの一環として鎌倉公園の整備が進む場合においては、新しい町の機能も必要になると考えられることから、市として府中街道から山王通りまでを事業効果のある区間として東京都に要望しております。

次に、元気と活力あふれる町にしていくための御質問にお答えいたします。

第1点目の小平の元気の度合いの認識でございますが、地域力では、地域の市民の皆様が才能を発揮するとともに、協働しながらその力を高めるために、市民活動支援公募事業、いきいき協働事業等を実施し、市民の皆様が活動や地域活動が活発になるよう支援を進めております。

民活力では、市内の企業や商店街などが一定の収益を上げ、経済活動や社会活動が円滑に行われるよう、事業者へのさまざまな支援を行っております。

行政力では、体系的な職員研修、職員の自立的な成長に主眼を置いた独自研修や派遣研修等を実施し、個々の担当職員の資質及び能力とあわせて、地域力、民活力の二つの力をまとめるコーディネーターとしての役割を担う力の向上も図っております。

市といたしましては、市民の皆様による新たな活力を協働を通してまちづくりに生かし、地域に根差した産業活性化を図るための施策を充実させ、時代のニーズに対応した職員の育成に努めてきており、3つの力を高めるための取り組みを着実に推進しているものと認識しております。

第3点目の元気と活力を与えるツールでございますが、現在、市民まつりや灯りまつり、グリーンフェスティバルなどの市民の皆様が元気になるようなイベントや小平ふるさと村、ふれあい下水道館、平櫛田中彫刻美術館など、市内の魅力ある施設は既に市民の皆様が日常生活に元気と活力を与えるものとなっております。

また、小平市観光まちづくり振興プランでは、学生発信企画の受け入れ及び実施、FC東京の応援強化、テーマ別のイベントの企画などの事業が掲げられており、今後も市内外の多くの方々が訪れ、楽しめる施設やイベントになるよう、さまざまな形で充実を図ってまいります。